

水道施設台帳システム導入業務委託
簡易評価型プロポーザル
選定評価基準書

令和3年6月

長岡市水道局浄水課

目次

1 本書の目的	1
2 受注候補者の特定方法	1
3 失格	1
受注候補者特定基準（1,180点満点）	2

1 本書の目的

本選定評価基準書（以下、「本書」という。）は、長岡市水道局が実施する「水道施設台帳システム導入業務委託」において受注候補者を特定するために行う簡易評価型プロポーザル方式における技術評価の方法と基準を定めるものである。

2 受注候補者の特定方法

- (1) 受注候補者の特定は、水道施設台帳システム導入業務委託審査委員会（以下、「審査委員会」という。）において本書に基づき実施要領に定める技術提案書の評価を行い、特定する。
- (2) 獲得点数は、審査員の点数の平均とし、この平均点数（小数点以下四捨五入）の最も高い業者1者を特定する。
- (3) 最高得点者が複数の場合、または審査対象者が1者のみの場合は、委員による審議のうえ、委員の挙手による多数決により受注候補者を特定する。
- (4) 技術提案書の評価表及び配点は、「別紙」のとおりとする。

3 失格

次のいずれかに該当する場合は、失格とする。

- (1) 提出期限内に、技術提案書等が提出されなかった場合。
- (2) 技術提案書等に虚偽の記載があった場合。
- (3) 審査の公平性に影響を与える行為があった場合。
- (4) プレゼンテーション及びヒアリングに出席しない場合（原則として、遅刻を含む）。
- (5) その他、実施要領に定めた条件を満たしていない場合。

受注候補者特定基準（1,180点満点）

(1) 技術提案書の評価項目、判断基準、ならびに技術点は以下のとおりとする。

ア 技術提案者評価（80点満点）※実施要領参照

評価項目	評価の着目点		配点
		判断基準	
経験及び能力 参加表明者（企業）の	成果の経験値・確実性	<p>(様式第4号)</p> <p>本公告日までに完了した同種又は類似業務の実績を下記の順位で評価する。</p> <p>①同種業務の実績が1件以上、類似業務の実績が6件以上ある</p> <p>②同種業務の実績が1件以上、類似業務の実績が5件ある</p> <p>③同種業務の実績が1件以上ある</p> <p>④類似業務の実績が5件以上ある</p>	<p>①30点</p> <p>②20点</p> <p>③10点</p> <p>④5点</p>
技術者要件（企業）	所有資格による知識・技術力	<p>(様式任意)</p> <p>資格の保有数により、下記の順位で評価する。</p> <p>①4つ以上</p> <p>②3つ</p> <p>③2つ</p> <p>④1つ</p> <p>※対象となる資格</p> <p>a 技術士（総合技術監理部門（選択科目：上下水道）または技術士（上下水道部門））</p> <p>b 技術士（情報工学部門）</p> <p>c 認定アセットマネージャ国際資格試験合格者</p> <p>d プロジェクトマネジメント・プロフェッショナル（PMP）</p> <p>e プロジェクトマネージャー（PM）</p> <p>f ITストラテジスト（ST）</p> <p>g 情報処理安全確保支援士（SC）</p>	<p>①20点</p> <p>②15点</p> <p>③10点</p> <p>④5点</p>
財務状況（企業）	長期に渡ってのシステム保証	<p>(様式任意)</p> <p>企業の自己資本比率（直近の決算の内容で算出）を下記の順位で評価する。</p> <p>①50%以上の場合</p> <p>②40%以上50%未満の場合</p> <p>③30%以上40%未満の場合</p> <p>④30%未満の場合</p>	<p>①30点</p> <p>②20点</p> <p>③10点</p> <p>④5点</p>

イ 実施方針など（100点満点）

評価項目	評価の着目点		配点
		判断基準	
実施方針・ 取組体制・ 実施手順・ 業務工程 その他 (様式第10号)	実施方針	基本的な考え方、内容の理解度が高い場合に優位に評価する。	20点
	取組体制	業務実施組織及び連絡体制が構築され妥当性が高い場合に優位に評価する。	20点
	実施手順	業務実施上の配慮事項が検討され妥当性が高い場合に優位に評価する。	20点
	業務工程	業務量の把握状況を示す工程計画の妥当性が高い場合に優位に評価する。	20点
	保守体制	導入後のシステム保守に関するサポート体制が低廉で効率的、効果的、現実的な場合に優位に評価する。	20点

ウ 評価テーマ（270点満点）

評価項目	評価の着目点		配点	
		判断基準		
評価テーマに関する技術提案 (様式第11号)	全体	評価テーマ間の整合性	相互に関連する複数の評価テーマ間の整合性が高い場合は優位に評価し、矛盾がある等整合性が著しく悪い場合は評価しない。	30点
	評価テーマ1～3	的確性	システムの活用方法について、具体的な提案がなされ、整合性が高い場合は優位に評価する。	90点 (30点×3テーマ)
			着眼点、問題点等が適切かつ論理的に整理されており、本業務を遂行するにあたって有効性が高い場合に優位に評価する。	
			事業の重要度、難易度を考慮した提案となっている場合に優位に評価する。	
	実現性	提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。	90点 (30点×3テーマ)	
		他都市での導入実績があり、実際にシステムを活用した事例などが明示されている場合に優位に評価する。		
		標準的な操作に関して、取扱説明書を見なくても直観的に操作できるなどの工夫がされている場合に優位に評価する。		
独創性	システムの活用方法について、独創性が高い場合に優位に評価する。	60点 (20点×3テーマ)		
	技術的知見に基づく全く新しい提案がある場合に優位に評価する。			

評価テーマ1：事故や災害対応時のシステム活用の提案及び可能性について

評価テーマ2：事故や災害を想定したデータバックアップ方法の提案について

評価テーマ3：経営戦略とアセットマネジメントのシステム融合について

エ システムの全体像の把握について（25点満点）

システムの導入イメージと有用性が簡潔に把握できる場合に優位に評価する。

オ システムの仕様について（55点満点）

システムの仕様について、「データセンター適合確認表（様式第7号）」及び「システム対応確認表（様式第8号）」に基づき評価する。

カ 見積金額評価について（150点満点）

(ア) 水道施設台帳システム導入業務委託金額の点数化

$$100 \times (\text{上限額} - \text{該当見積額}) / (\text{上限額} - \text{最低見積額})$$

※小数点以下四捨五入

(イ) 水道施設台帳クラウドサービス使用料の点数化

$$50 \times (\text{上限額} - \text{該当見積額}) / (\text{上限額} - \text{最低見積額})$$

※小数点以下四捨五入

(2) 点数一覧

評価項目	配点
技術提案者評価	80点
実施方針など	100点
評価テーマ（全体）	30点
評価テーマ（3テーマ）	240点
システムの全体像の把握について	25点
データセンター適合確認状況	88点
システム対応確認状況	467点
見積金額評価	150点
合計	1,180点